



日本では、12月になると、さまざまなライトアップやクリスマス飾りが見られます。ポーポキはそういうのが好きですが、家族や友だちと一緒に過ごすことが一番好き！みなさまも、年末を大切な相手と一緒に過ごせるといいね。

## Popoki's Hot News!



### ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのまいかにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「どんなにつらくても、どんなに追い詰められていても、共感して支えてくれる人がいるから頑張れる。直面している状況は大変だけど、心の中まで大変にならずに頑張ろうという気持ちになれるのは平和なのかもしれない。」  
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com !



### 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>





**ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project  
10<sup>th</sup> Anniversary**

**2006年～2016年。本は4冊。数々のワークショップやセミナー、ポーポキ友情物語活動、祭り参加、国際的なプログラムやスカイプによる国際交流、パレスチナなどへの国際スタディツアー。一緒に笑ったり、泣いたり、考え込んだり、描いたり、つながったりする10年間。本当にありがとうございました。**



**素敵な年末年始をお過ごしください！また元旦の日にお会いしましょう！**

## 子どもの権利条約フォーラム in 関西に参加して

報告者：さとにゃん

今日は、ろにゃん、カオにゃん、キヨにゃん、ヤコにゃん、はやしにゃんと一緒に「子どもの権利条約フォーラム 2016 in 関西」に参加しました。12月11日の午前中は、12の分科会で子どもの権利に関するワークが行われました。

大人のためのセッションがあれば、こどもやユースの参加が可能なグループもありました。ポーポキのお部屋は A-7「子どもの権利って、なに色？ねこのポーポキと全身で表現しよう！」でした。こども、ユース、おとなの19人が参加してくれました。今回は、平和ポーと権利ペン（ペンギン）も特別参加。

まず最初にポーポキの紹介。“ポーポキ”はロニーに名前をつけてもらいました。子どもはみんな名前を付けてもらう権利があるんだよという話の後、みんなでポガ。続けて、五感



と権利を含む『ポーポキ、平和って、なに色？』の読み聞かせ。それをうけて、平和ポーと権利ペンが読み聞かせのページに含まれていた平和と権利の内容をみんなで確認しました。そのあと、2つのグループに分かれて、今話し合った権利の一つを選んで、体を使って表現してお互いに批評。十分な生活水準を得る権利の表現として、「お金がなければ生活できない」を表現したグループ。自分らしくある権利の表現として、踊りの発表がありました。最後に、3つのグループに分かれて、“泣いているポーポキ”が①なぜ泣いているのか。②どうすれば泣き止むのか。③泣いている原因を解決するには？④み

んなが笑っている。を紙芝居で作ってもらいました。

泣いている原因は“カード遊びのカードが無くて一緒に遊べないから”、“色々なことに悩んで”、“仲間外れにされて”など様々。それらの解決策を考えるだけではなく、その時のそれぞれの立場の気持ちなども発表の中でみんなで考えました。最後にろにゃんが、子どもはみんな守られる権利を持っている、でもその権利の為には、困っているということを周りに伝える事が大切で、周りの大人もそれに気づけるように見守る必要がある。また、みんなで平和に暮らすためには、周りを気遣う心配りも大切であるとまとめてくれました。

ポーポキに参加された皆さんは、大人もユースも、子どももとても生き生きと権利について感じたり考えたり表現したり。難しい話も、楽しみながら体験できることを実感されたようでした。

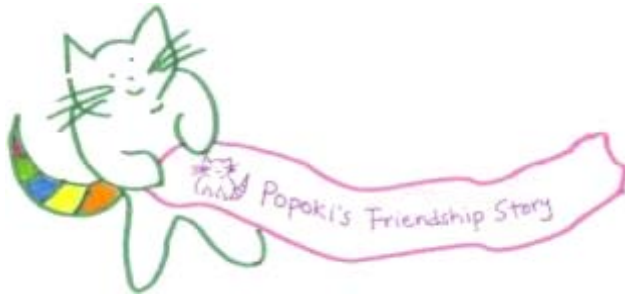
分科会が終わって、フォーラムの最後に全体会がありました。その中、子どもも大人も一緒に考える子どもの権利条約のアクションプランづくりのとき、小学校の先生が言われたこ





とが、印象に残りました。「先生は、どんどん大人のルールに子供を従わせようと、抑圧してきているように感じます。」と。皆さんも、一度子どもの権利条約を確認して、周りの子どもにとっての権利を子どもの立場から考えてみませんか？





## \*Popoki's Interview\*

今回、大槌町の植田俊郎医師にエッセイをおくっていただきました。

### 余震

平成 28 年 11 月 22 日、地震があった。この日 6 時少し前に目覚め、玄関に新聞を取りに行き、ダイニングに戻った時「ぐらっ」と来た。最近の揺れと比べると大きくはないが、揺れた時間が長いように感じた。テレビをつけると福島沖を震源とする地震で津波警報が発令されており、大槌には 6 時 30 分頃 1 m の津波が到達するとのことだった。3.11. の予報 6m ではないし、実際の 18m でもなさそうなので少し安心したが、実は 5 年たった今も水門も防潮堤も未完成である。土盛りをして県道が整備されただけの、以前暮らしていた町方地区が心配になった。保育園、幼稚園、小中学校、高校は休校となり、職員からはお休み、避難中、遅刻の連絡電話が入ったが医院の玄関は開けることにした。なにかがあれば避難所として機能すると思ったからだ。

この地震津波は東日本大震災津波の余震だという。震災後 6 年目を迎えた我が町が、3.11. の余震に恐れをなし、あの記憶が生々しくよみがえる。この町にはまだ癒えぬ現実が存在している。

岩手県大槌町 植田 俊郎

※この文章は植田先生が所属する釜石医師会の医師会報に平成 28 年 12 月号の巻頭言として寄稿されたものです。植田先生の許可を得て、「ポーポキ通信」に掲載しました。

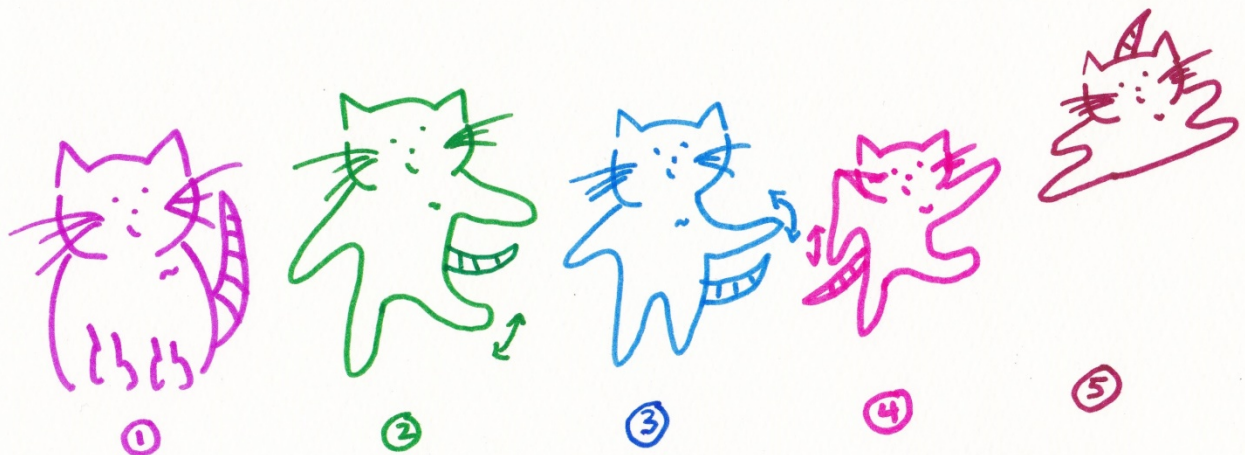


写真：「大槌町 町方地区」平成 28 年 1 月 11 日、小鯨山中腹より撮影。（植田俊郎撮影）

# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 103

今月のテーマは忙しい時にリラックス！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、立ちましょう。片足をあげて、足首を上下にふりましょう。もちろん、回すのも OK ですし、しっぽと一緒に動かすのはなお良い！最初の足が終わったら、もう一方の足をどうぞ。
  3. 次は、手をふりましょう。手首やしっぽをまわすのも良いですね。両手を同時に動かすのも、左右に異なる動きをするのも良いですね。
  4. 今度は、肩を上下に動かしたり、回したりしましょう。チャレンジしたい人は、すべてを同時にトライしてみてもいいかな？
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？

次回のポー会：1月25日 19:00～20:30 神戸YMCA 201号室

- 12月19日～23日 ポーポキ in インドネシア(ガジャマダ大学)
- 2017年2月2日～6日 ポーポキ in 大槌町(予定)
- 3月ごろ ポーポキミニ平和映画祭(予定) 神戸YMCA/神戸YWCAと一緒に！



\*1月～2月は、ポーポキの多くの友だちがとても忙しい時期ですので、活動が少ない。



# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー :

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange

<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なにに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なにに色?」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk33web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk33web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8. 10面





## 私にとってのポーポキ

やこにゃん

私にとってのポーポキは、平和を作る素敵な活動です。「平和は大切だよ」ということはみんな分かっているかもしれませんが、「どうやって平和を作るの?」ということになると分からなくなってしまいかもしれません。

私は平和を作る活動はどこでもできると思います。ポーポキ・ピース・プロジェクトのように。どこか遠くの国や危険な場所に行かなくても、平和を作ることは私たちのいるところのできるのです。それは本当に素晴らしいことだと思います。

ポーポキのワークショップでは、参加者は最初に、平和について考えて、それを表現します。次に、参加者はほかの参加者の平和についての考えに耳を傾けます。最後に、参加者は、一緒にちょっとした平和を作る行動を起こします。私がポーポキ・ピース・プロジェクトを好きだと思うのは、かんたんで楽しいアクティビティで、かつ平和を作ることを広げていく第一歩でもあるからです。

思うに、このような平和を作る活動を続けていくことと、その活動の意味と影響について考えて工夫していくことが大切です。でも、それは何か特別なことではなく、続けていくと生活の一部になっていくことなのだと思います。

私のイメージでは、平和を作ることは「和を以て貴しとなす」という言葉を連想させます。これは、今からおおよそ **1400** 年前に、日本で仏教を広めることに貢献した聖徳太子の言葉だと言われています。この言葉は、「何事をやるにも、みんなが仲良くやり、いさかいを起こさないのが良い」ということを表しています。お互いを尊重して、争ったり足を引っ張ったりせずに、仲良く楽しく調和して物事を行っていく大切さを説いた言葉です。

日本語の和はまた、足し算のことを表します。いろいろな人の意見を取り入れながらみんなでなにかを行っていく姿勢がここにも表れているような気がします。

加えて、ポーポキは暴力と他人の痛みについて意識し、どのように状況を改善していくかを考えます。私は、ポーポキがこのような人の痛みを取り除こうとする活動であることにもたいへん感謝の気持ちを持っています。ポーポキに参加して、平和を作ることができることをうれしく思います。





さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!